

ピルズベリー、クロスボーダーM&A ディールメーカーのジェフ・シュレップファー弁護士を東京オフィスの新たなパートナーに迎える

活性化するM&A市場で日本企業へのサポートを大幅強化

当事務所は、ジェフ・シュレップファー([Jeff Schrepfer](#)) 弁護士を東京オフィスの新たなパートナーに迎え入れました。シュレップファー弁護士は、エネルギー分野で豊富な経験も有し、日本で定評のある M&A 弁護士です。Morrison & Foerster より当事務所へ移籍しました。

シュレップファー弁護士は、日本の上場企業及び非上場企業をクロスボーダーM&A 案件等で代理し、企業法務全般の法的助言を提供します。東京でのキャリアは日本の大手メーカーの経営企画部でのアナリストに始まり、フランスの大手銀行の東京における金融派生商品のブローカー兼アナリストを経て、アメリカに帰国し弁護士の資格を取った上 2004 年に弁護士として再度来日して以降、20 年以上にわたります。ネイティブ並みに流暢な日本語を話し、*Legal 500 Asia Pacific* では「経験豊かな企業顧問」「完璧なプロフェッショナル」と評されています。

「シュレップファー弁護士は日本企業の海外 M&A で素晴らしい成功を収めてきました。そのクライアントへの貢献から、東京における海外 M&A 分野の第一人者の一人だという素晴らしい評判を得ており、クライアントの信望に相応しい人だと思います」と、東京オフィスのマネージングパートナーである奈良房永弁護士は述べています。また、「彼が加わることで当事務所の業務基盤が大幅に強化され、海外でビジネスを行うまたは海外に進出する日本企業のニーズに応える力もまた大幅に向上するでしょう。」

当事務所のコーポレート部門のリーダーを務めるジェフリー・J・デラニー弁護士は、「新型コロナウイルスのパンデミックがもたらした難関を乗り越え、日本の M&A 市場は新たな全盛期を迎えつつあると希望的観測を強めています。この絶好の機会を逃さないよう、当事務所すべての拠点在籍するコーポレート部門の弁護士が一丸となりクライアントを支援するにあたり、これに適任であるシュレップファー弁護士を東京オフィスに迎えました」。

日本の M&A 市場は既に活発化しており、今後数か月で急速に加速するであろうとの予測が多く出ています。[S&P Global](#) が引用した、M&A アドバイザリー会社の Refco Corp. による最近の発表では、日本企業は 2021 年の最初の 4 ヶ月間に、過去最高の M&A 件数を記録した 2019 年の最初の 4 ヶ月間よりも、多くの M&A 取引に関与していたことが指摘されています。一方、日経平均株価は 1 月以降数%上昇しており、早ければ今夏にも 3 万円を突破するであろうと予想されています。

「ピルズベリーは 100 年近くにわたり日本企業を代理してきた実績があり、これからはその素晴らしいプラットフォームを活用して、クライアントを支援できることとなります」とシュレップファー弁護士は述べました。「ピルズベリーは、日本の『2050 年カーボンニュートラル』イニシアティブに照らして、重要なエネルギー分野に強いことで名高い事務所であり、M&A 市場においても、世界中の注目を集める案件に携わっています。この素晴らしいチームの一員になれることは大変エキサイティングなことです」。

当事務所は、テクノロジー、ライフサイエンス、エネルギー、金融の各業界における M&A 及びプライベート・エクイティ取引について、マーケットリーダー、イノベーター、及びファイナンシャル・スポンサーに助言しています。米国、ヨーロッパ、アジアの主要な M&A 案件市場に 650 人以上の弁護士が在籍しており、Bloomberg、Factset、Refinitiv などのランキングで、M&A 分野で最も活動的な法律事務所トップ 20 に常に選出されています。また、Chambers や The Legal 500 では、この分野の卓越したアドバイザーとして、当事務所の弁護士が高い評価を受けています。

Press Release に関するお問い合わせ

田中里美

satomi.tanaka@pillsburylaw.com